



コミュニティ・スクールだより No.3



中学校区合同学校運営協議会を開催しました

12月5日(月)に第3回となる学校運営協議会を行いました。今回は、新津第二中学校区合同学校運営協議会 兼 拡大大学校保健委員会ということで、新津第二中学校を会場に荻川小学校・結小学校・第二中学校の委員が参加して、三校合同で開催しました。

《 協議内容 》

第1部 拡大大学校保健委員会

～テーマ「子どもの健康問題と中学校区における取組について」～

- メディア利用・健康面・体力面の実態
- 改善策についてグループでの意見交換

第2部 合同学校運営協議会

- 学校の取組紹介
- 目指す子ども像・地域像についてグループでの意見交換



第1部 拡大大学校保健委員会について

<メディア利用の実態>

- 平日に2時間以上電子ゲームをしている割合は、小学校では、○～○%(学校間でばらつきがある)。中学校では、2年生が20%以上。
- インターネットをやめるように言われても離れることができない、インターネットが気になりイライラしたり不安になったりする児童・生徒がいる。
- 写真や動画などを他人に送信、誹謗中傷の書き込みなどのトラブルがあった。偽アカウントから生徒の情報を引き出されたケースもあった。

<健康面の実態について>

- 小学校では9割以上、中学校では8割以上が、朝食を毎日摂取。
- 睡眠時間は、小学校では8割程度の児童が8時間以上。中学校では2年生・3年生で6時間以下の生徒が20%以上。
- 視力検査の結果では、小学校の中学年から少しずつ低下がみられ、中学校になると半数が視力1.0未満。

<体力面の実態について>

○体力測定の結果については、総合判定はほとんど C 評価。、体力測定の結果は年々低下している傾向。

これらの実態を確認後、グループで課題とそれに対する取組を話し合いました。主な内容は次の通りでした。

- 児童生徒向け、保護者向けにメディアの使用に関する理解を深めるための機会(講習会など)があるとよい。
- 家庭学習強調週間でメディアについても取り組んではどうか。(メディア0の取組)
- 人との直接の関わりが少ない。地域の方と共に遊びを通して楽しみながら体を動かす機会を増やしてはどうか。
- 地域と子どもが顔を合わせる機会を増やし、心を育てていくことも大切ではないか。



第2部 合同学校運営協議会について

各校の校長から学校の取組紹介の後、目指す子ども像・地域像についてグループで話されました。

- 地域を好きに、地域を愛する子どもになってもらいたい。小・中9年間での地域・学校でののかかり合いや本物の体験が大切。
- 違いを当たり前ととらえ、お互いに認め合う子どもになってほしい。ピアサポートや小・中連携での活動を通して子ども同士のかかわりを大切にしていけるとよい。
- 間違ったとき、直すことができる、また誰かと一緒に乗り越えることができる子どもになってほしい。そうすれば、人生を楽しく過ごすことができる。
- 大人が楽しんでいる、頑張っている姿を子どもに見せることが、自分で考え、選択、判断できる子どもの育成につながるのではないか。



ここに掲載した以外にもたくさんの意見が出されました。地域や学校において、人と人がかかわる経験・体験を重要ととらえる様子が伺えました。また、子どもたちの実態や学校での取組を踏まえ、よりよい姿に、よりよい方向に向かうための建設的な意見が多く、参加した皆さんの子どもたちへの愛情が伝わってきました。『地域と共にある学校』に向けて、有意義な会になりました。ご出席して下さった皆様、ありがとうございました。

※ 次回、第4回学校運営協議会は2月22日(金)の予定です。

問い合わせ先
荻川小学校 教頭 菅原知昭
TEL 0250-25-2171

